

山の畑のいま

第42号

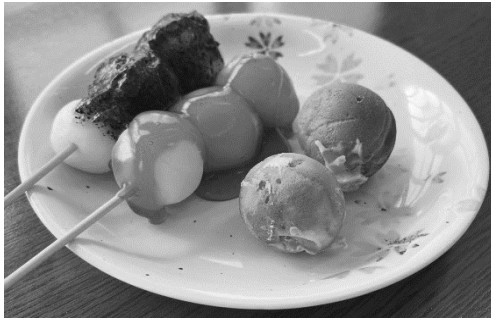
事業所お知らせ機関紙（毎月15・25日発行）

発行日：令和6年4月15日 発行責任者：櫻井健太郎

山の畑のあちらこちらに春のよそおいが感じられるようになってきました。中庭のしだれ桜も花をつけてくれています。そろそろ花壇にお花を植えようと思いますし、畑の草取りもしなくてははいけません。気持ちだけそわそわしてしまいますがひとつひとつやっついていこうと思います。これまでもお伝えしてきたことですが、4月になり新年度になりましたので山の畑ではいろいろな新しいことがはじまっていきます。それでは山の畑のいま42号をお届けします。

「自主活動」でお団子づくり

12日(金)の自主活動の時間にお団子づくりをしました。本当はお花見をしたかったのですが、今年はまだ早かったようなので、「花より団子」でおいしいものをつくって楽しむことにしました。お団子のほかにもたこ焼き器をつかってベビーカステラも作りましたよ。お茶を入れてほっこりと午後のひとときをすごすことができました。おかし作りはこれからも2か月に一回程度続けていきたいと考えています。



カイゼンの窓

■ トイレ入り口に足あとシールをはりました

トイレに入るときのスリッパはきかえ徹底のため、トイレ入り口のところに足あとシールをはりました。そこうわばきをぬいでください。衛生面でたいせつなことです。ご協力をどうかお願いします。

■ お知らせやお願いを動画で流しています

情報やお知らせ、お願いを動画にしました。それを所内で流すようにして、掲示板・山の畑のいま・みんなの会とあわせてお知らせの形を増やしました。

■ 大切なお手紙や書類は手渡しで

これまでレターケースにお届けものを入れていましたが未確認のままの物が残ることがあったため、ご本人様に確実に届くよう、フロントで直接お手渡しをするようにしました。

よろしく申し上げます



山の畑へいらっしやい

今回は、職員の役割や仕事についてお話しします。

山の畑の職員は皆さんがはたらくための支援をしています。支援するためにはまずお一人ひとりのことをきちんと理解していなければいけませんので、たとえば面接をしてさまざまなことをお聞きしたり、ときには提案をして実際の生産活動の場面で試してみたりします(これを「アセスメント」といいます)。アセスメントをもとにやってみて、もっとこうしたらいいのではないか、このほうがよいのではないか、と職員間で検討し(話し合い)、次の支援につなげています。

職員にはそれぞれ法令(法律などのこと)によって定められた役割があります。主にアセスメントを行い個別支援計画を作成する「サービス管理責任者」、作業工賃アップを担う「目標工賃達成指導員」、皆さんと直接かかわらせていただきながら、皆さん自身が「できるようになる」ためのことを一緒に考えながら活動する「職業指導員」と「生活支援員」です。

私たち職員は精一杯皆さんの支援に取り組んでいますが、熱意だけでなく常に学ぶことも求められています。そこで山の畑では月に一回、職員研修を行い、職員全体で話し合い学ぶ機会を作っています。(皆さんにはその日は半日活动ということでご協力いただいています。ありがとうございます)現状に満足することなく、成長し続けることができるよう努力を重ねてまいりたいと思いますので今後ともどうかよろしく願いいたします。

最新の予定とお知らせ

- ・4月17日(水) 職員研修のため午前半日
今月は会社の理念と事業方針について学びます。
- ・4月19日(金) 女子会／ぷよぷよ団活動説明会
- ・4月29日(月) みんなの会 できるだけ多くのご参加を。
- ・5月3日(金) 焼肉会 お外で焼肉。
- ☞ 5月から、お昼前の作業室の清掃方法を新しくします。
- ☞ パソコン基礎講座を5月から開講します。関心のある方は掲示板のチラシをご確認ください。

※次号発行日は4/25です。